

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0333

(注)本稿は 2014 年 12 月 16 日から 24 日までの 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.12.24

前田 高行

MENA では君主制国家が清潔、共和制国家が腐敗:腐敗認識指数(2014年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その14)

目次	頁
1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について	2
2. MENA 諸国のCPI指数と順位	2
3. 2010-2014年の世界順位の変化	4
4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2010~2014年)	5

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第14回のランキングは、汚職追放を目指す世界の NPO 法人 Transparency International(略称:TI、本部ベルリン)が毎年発表している「Corruption Perception Index(腐敗認識指数)」について MENA

諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ

TI 本部: <http://www.transparency.org/>

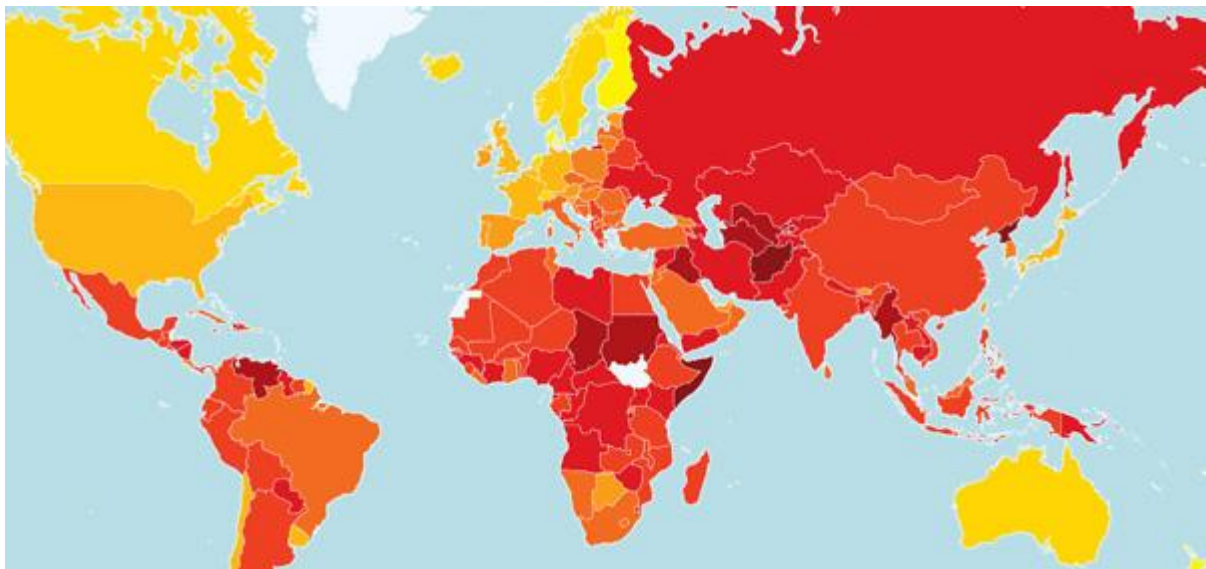
日本支部: <http://www.ti-j.org/>

1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について

Corruption Perception Index(CPI, 腐敗認識指数)は、公務員と政治家がどの程度腐敗しているか、その度合いを国際比較し、国別にランキングしたものである。ベルリンに本部のある NPO 法人 Transparency International(TI)が手がけており、日本にはその支部「NPO 法人トランスパアレンシー・ジャパン」がある。

CPI は1995年に第一回の指数を発表、今年で20回目である。調査当初は対象国が41カ国、調査内容も7種類と小規模であったため、各国からは調査結果に対する不満が出たが、回を重ねるに従い内容の信頼性も高まっており、今年の調査対象国175カ国に達している。

評価は各国の実業家或いは分析専門家など実務で腐敗の現場に直面している人々の経験や認識に基づくアンケートを統計処理したものであり、CPIは0から100までのスコアで国を採点している。0点は最も腐敗していると考えられる国を、100点は最も透明性が高い国であることを示している。



(腐敗度別世界地図: Transparency International ホームページより)

2. MENA 諸国のCPI指数と順位(末尾表 14-T01 参照)

2014年度の MENA 腐敗認識指数はパレスチナ自治政府を除く19カ国が評価対象となっている。この中で最も腐敗度が低いと評価されたのは UAE であり、同国のCPI指数は70、世界順位は25位である。これは日本(CPI 指数76、世界順位15位)、米国(同、74、17位)よりは低いが、フランス(同69、26位)よりも上位である。

UAE に次ぐ MENA 第2位はカタール(CPI指数69、世界順位26位)、3位はイスラエル(同60、37位)であり、以上3カ国が世界50位以内である。以下バハレーン、サウジアラビア及びヨルダン(ともに CPI 指数49、世界順位55位)、トルコ及びオマーン(同45、64位)、クウェイト(同44、67位)と続いている。

MENA10位以下ではチュニジア(CPI指数40、世界順位79位)、モロッコ(同39、80位)までが世界175カ国の上位グループに入っており、これにエジプト(同37、94位)、アルジェリア(同26、100位)を加えた13カ国が世界100位以内である。

上記以外のMENA6カ国はCPI指数、世界順位共に低く、レバノン及びイランは世界136位、シリアは159位、イエメン161位、リビア166位、イラク170位である。リビアとイラクは世界の最下位グループであり、いずれも腐敗度が高いとされている。因みに世界最下位は北朝鮮及びソマリアでCPI 指数は一桁の8である。

MENAの上位9カ国のうち6カ国は GCC を結成する君主制(王制、首長制、スルタン制)国家であり、これにヨルダンを加えると実に9カ国中の7カ国が君主制国家で、イスラエルとトルコの2カ国のみが共和制国家である。また昨年の世界順位と比較するとサウジアラビアは63位から55位に8ランクアップしており、ヨルダンも66位から55位へ11ランク上がっているのに対して、トルコは昨年の53位から11ランクも世界順位が下がっており、イスラエルも1ランク落ちている。このことから見る限り MENA では君主制国家が清潔であるのに対して共和制国家が腐敗しており、昨年よりも今年はその傾向が強くなっているのである。

また非君主制国家で上位に位置しているイスラエル及びトルコはそれぞれユダヤ民族及びトルコ民族の国家で非アラブ民族国家である。そして10位のチュニジア以下の10カ国のうち8カ国はアラブ民族の共和制国家である。これらのことからMENAは王制国家が腐敗度の少ない清潔な国家であるのに対し、アラブの共和制国家は腐敗度が高いと言う結果を示している。

なおMENA19カ国の平均CPI指数は40、平均世界順位は91位であり、MENAは世界175カ国の中では平均をわずかに下回っている。

CPIレポートは「貧困と腐敗の間には強い相関関係がある」と指摘しており、上位にUAE、カタールなどの湾岸産油国或いは経済力の強いイスラエル、トルコが並んでいることはレポートの指摘を裏付けている。しかしながら MENA 最下位グループのリビア、イラク、シリア及びイエメンを比較すると貧困と腐敗が必ずしも相関関係にあるとも言えない。リビア及びイラクは産油国として豊かな石油収入があり国家としての GDP はシリア、イエメンより大きく豊かである¹。それにも関わらず両国はシリア、イエメンより腐敗度が高い。リビア及びイラクでは国家の富の分配が不平等であり、そこに腐敗が介在していることをうかがわせる。

因みに世界でCPI指数が最も高い国(即ち腐敗度が最も低いとされた国)はデンマークでそのCPI指数は92である。また日本(CPI指数76、世界15位)及び米国(同74、17位)は既に述べたとおりMENAトップのUAEよりも高い。そして中国はCPI指数36、世界順位100位であり、MENA13位のアルジェリアと同じレベルである。

3. 2010－2014年の世界順位の変化(末尾表 14-T02 参照)

2010－2014年の各国のMENA順位及び世界順位の変動を見ると、2010年から2012年まではカタールがトップであったが、UAEは2012年に世界27位でカタールと肩を並べるとその後は2013年26位、2014年25位と毎年順位を上げMENAトップを続けている。カタールは2010年に世界19位でMENA2位のUAE(28位)をかなり上回っていたが、その後は20位以下に転落、27位(2012年)→28位(2013年)→26位(2014年)とここ3年は20位台後半に停滞している。イスラエル過去5年間MENA3位であるが、その世界順位は30位(2010年)→36位(2011年)→39位(2012年)→36位(2013年)→37位(2014年)と世界30位台後半に後退している。

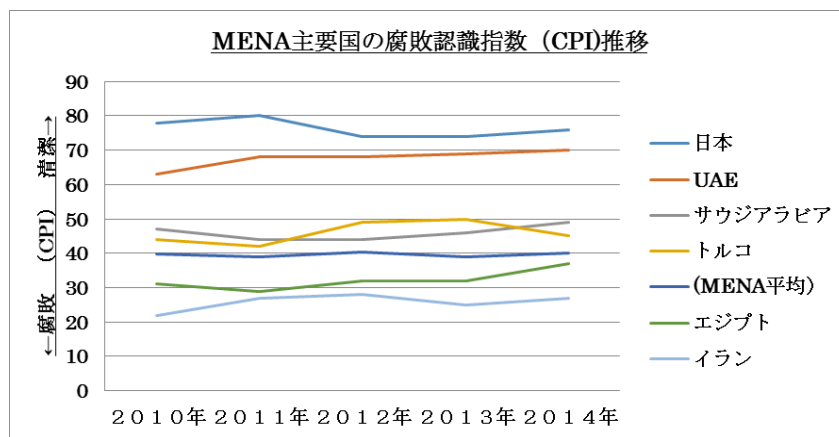
これら3カ国に続くバハレーン、サウジアラビア、ヨルダン、トルコ、オマーンおよびクウェイト各国は50位～60位台を上下している。以上の9か国のうちイスラエルおよびトルコを除く7か国は君主制国家であり、MENAでは君主体制が一貫して腐敗度が低いとされていることがわかる。

今回クウェイトに次ぐ順位であったチュニジアは5年間を通じてMENAでは10位でありMENA19か国では丁度真ん中に位置している。しかい同国の世界順位は59位(2010年)→73位(2011年)→75位(2012年)→77位(2013年)→79位(2014年)と年々下降の一途をたどっている。このことはMENAの腐敗度が世界全体に比較して悪化していることを示しており、実際にMENAの世界平均順位は2010年の84位から2014年には91位に低下している。

エジプトとアルジェリアは世界順位100位前後を往復しており、エジプトの場合5年間の世界順位は98位(2010年)→112位(2011年)→118位(2012年)→114位(2013年)→94位(2014年)であり、アルジェリアは105位(2010年)→112位(2011年)→105位(2012年)→94位(2013年)→100位(2014年)となっている。

上記以外のレバノン、イラン、シリア、イエメン、リビアおよびイラクの各国は5年間を通じて世界順位が100位以下である。その中ではシリアの順位の下落が顕著であり2010年の127位から2012年には144位そして今回は159位である。アサド大統領の独裁政治により縁故主義が蔓延し、さらにシーア派とスンニ派の対立、「イスラム国(IS)」のようなイスラム過激派の台頭により内政が極度に混乱していることが腐敗度を増長していることは間違いない。同じような理由でイラクも過去5年間を通じて世界の最下位クラスにとどまっている。

4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2010~2014年)



UAE、トルコ、サウジアラビア、エジプト、イランの5カ国及び MENA19カ国平均に日本を加えた2010年から2014年までの CPI 指数の変化を比較すると、UAE は2010年の CPI 指数63が2014年には70に改善している。この間日本は78(10年)→80(11年)→74(12

年)→74(13年)→76(14年)と2011年の81から12年及び13年は急落、14年に少し改善されたが2011年の水準に戻っていない。両国の差は2011年の12ポイントから2014年には6ポイントに縮まっている。

トルコの場合は44(10年)→42(11年)→49(12年)→50(13年)→45(14年)であり2013年が過去5年間で最も良い。サウジアラビアは過去5年間40ポイント台で推移している。MENA 平均値の推移は40(10年)→39(11年)→40(12年)→39(13年)→40(14年)と殆ど変化がない。

エジプトは31(10年)→29(11年)→32(12年)→32(13年)→37(14年)であり2011年以降改善の兆しが見られる。イランは22(10年)→27(11年)→28(12年)→25(13年)→25(14年)と20台後半に低迷しており腐敗度は高いままである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

腐敗認識度指数(Corruption Perception Index)

	国名	2014年		2013年		2014年/2013年	
		CPI Score	世界順位	CPI Score	世界順位	CPI Score	世界順位
1	UAE	70	25	69	26	1	1
2	カタール	69	26	68	28	1	2
3	イスラエル	60	37	61	36	-1	-1
4	バハレーン	49	55	48	57	1	2
4	サウジアラビア	49	55	46	63	3	8
4	ヨルダン	49	55	45	66	4	11
7	トルコ	45	64	50	53	-5	-11
7	オマーン	45	64	47	61	-2	-3
9	クウェイト	44	67	43	69	1	2
10	チュニジア	40	79	41	77	-1	-2
11	モロッコ	39	80	37	91	2	11
12	エジプト	37	94	32	114	5	20
13	アルジェリア	36	100	36	94	0	-6
14	レバノン	27	136	28	127	-1	-9
15	イラン	27	136	25	144	2	8
16	シリア	20	159	17	168	3	9
17	イエメン	19	161	18	167	1	6
18	リビア	18	166	15	172	3	6
19	イラク	16	170	16	171	0	1
	パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-
	(MENA 平均)	40	91	39	94	1	3
	(世界1位)デンマーク	92	1	91	1	1	
	日本	76	15	74	18	2	3
	米国	74	17	73	19	1	2
	中国	36	100	40	80	-4	-20
	(最下位)北朝鮮、ソマリア	8	174	8	175	0	1
	(全対象国数)		175		177		
	(内 MENA 対象国数)		19		19		

Source:Transparency International

(インターネット URL : <http://www.transparency.org/cpi2014>)

MENA ランク14 腐敗認識度指数世界ランク、2010～2014年

国名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
(対象国数)	178カ国	183カ国	174カ国	177カ国	175カ国
UAE	28	28	27	26	25
カタール	19	22	27	28	26
イスラエル	30	36	39	36	37
バハレーン	48	46	53	57	55
サウジアラビア	50	57	66	63	55
ヨルダン	50	56	58	66	55
トルコ	56	61	54	53	64
オマーン	41	50	61	61	64
クウェイト	54	54	66	69	67
チュニジア	59	73	75	77	79
モロッコ	85	80	88	91	80
エジプト	98	112	118	114	94
アルジェリア	105	112	105	94	100
レバノン	127	134	128	127	136
イラン	146	120	133	144	136
シリア	127	129	144	168	159
イエメン	146	164	156	167	161
リビア	146	168	160	172	166
イラク	175	175	169	171	170
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	84	88	91	94	91
(世界 1 位)	ニュージーランド/ シンガポール/ デンマーク	ニュージーランド	デンマーク/フィンランド/ ニュージーランド	デンマーク/ニュー ジーランド	デンマーク
日本	17	14	17	18	15
米国	22	24	19	19	17
中国	78	75	80	80	100
(世界最下位)	ソマリア	北朝鮮/ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮 /ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮 /ソマリア	北朝鮮/ソマリア

Source:Transparency International

(インターネット URL : <http://cpi.transparency.org/cpi2013/>)

ⁱ MENA ランキングシリーズ 3 「GDP の比較(2013 年 4 月版)」参照。
<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0264MenaRank3.pdf>